

# 解 答 速 報

## 東海大学医学部 英語

2023年 2月 3日実施

1	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問 10	
	ウ	ウ	ア	イ	イ	ウ	ア	エ	エ	ア	
	問 11										
	1	2	3	4							
	F	T	F	F							
2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	イ	ウ	エ	エ	エ	ウ	ア	ウ	ウ	エ	
3	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	ウ	ア	ウ	イ	ア	エ	イ	ウ	ア	エ	
4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	イ	イ	イ	ウ	ウ	エ	イ	ウ	ア	ア	
5	問 1	問 2	問 3	問 4	6	(1)	(2)	(3)	(4)		
	ウ	イ	ウ	ウ		ウ	イ	ウ	エ		
7	(1) 体内の細胞は半分以上がヒトの細胞ではなく、細菌や他の微生物からなる。こうした微生物は身体中に見られるが、もっぱら大腸に集中している。										
	(2) それゆえ、こうした生物の持つ特徴を診断や治療に取り入れることで、医療のさらなる発展が可能となり、健康寿命を延ばす助けとなるかもしれない。										
8	(1) Apart from philosophical consideration, it has become clear that there exist many animals besides humans that can laugh.										
	(2) In playing a fight, these animals make noises to signal that they have no intention to do an injury.										

《〈 模試・講座のご案内 〉》

**受験相談会・後期模試・攻略講座**を実施します

※詳細は最終面をご確認ください

1

問1 「第1段落によれば、正しいのはどの文か」

正解は、ウ「老化を治療可能な病気だと考え始めている科学者もいる」。第1段落最終文に「近年、その探求は、老化というのは人生の必然的な一部分などではなく、病気のように治療可能で、ひょっとすると根治すら可能なものかもしれないと主張する科学者によって続けられてきた」とある。

問2 「第2段落から推測されるものどれか」

正解は、ウ「ベニクラゲは若返ることができる」。第2段落第3文に「加えて、ベニクラゲのような特定の海生生物は、発生の初期段階に戻る能力を持ち、ひょっとしたらそれを何回でも行えるのかもしれないということ知られている」とある。

問3 「第3段落によれば、細胞変性に関して正しいのはどの文か」

正解は、ア「そのせいで、骨がもろくなり、筋肉が衰え、物忘れがひどくなる」。第3段落第2文に「細胞変性の原因はわかっていないが、一つははっきりしているのは、それがすべての人に同じペースで起こるわけではないということだ」とあるが、その直前の同段落第1文に「骨がもろくなり、筋肉が衰え、物忘れがひどくなるといった、老化と呼ばれるものの兆候が現れるのは、体内の細胞が分裂・再生しなくなったときである」とあり、ここでの「細胞変性」が「体内の細胞が分裂・再生しなくなった」ことを指すのだと推測できる。そのため、第3段落第1文が根拠となり、答えはアに決まる。

問4 「第3段落内の[ 1 ]にもっともよく置き換わるものは以下のどれか」

正解は、イ「同様に」。前後の脈絡を確認する。第3段落第2文で細胞変性の起こるペースが人によって異なる旨が述べられており、続く同段落第3文ではその具体例が挙げられている。そのおおよその意味は「たとえば、ある人が長時間直射日光を浴びていたら、太陽に曝されている時間がより短い人に比べて、皮膚細胞はより早いペースで老化してしまう」である。一方、[ 1 ]を含む同段落第4文には「[ 1 ], 座りっぱなしの生活をしてきた人々は、もっと体を動かしてきた人々よりも、慢性痛や筋力低下が起こりやすい」とあり、こちらも同様の具体例が述べられているので、答えはイに決まる。

問5 「第3段落で、(A)座りっぱなしの人は\_\_\_\_\_な人である可能性が最も高い」

正解は、イ「あまり動き回らない」。下線部(A)を含む第3段落第4文のおおよその意味は、「同様に、座りっぱなしの生活をしてきた人々は、もっと体を動かしてきた人々よりも、慢性痛や筋力低下が起こりやすい」である。「もっと体を動かしてきた人々」と対比されていることから、答えはイと決まる。

問6 「第4段落によれば、senolytics は\_\_\_\_\_」

正解は、ウ「身体が健康な細胞は保ちつつ、古くなった細胞を取り除くことを引き起こす」。senolytics については第4段落第4文に言及があり、それは「免疫系が老化した細胞を標的とし、それを除けば健全な組織から選択的に老化細胞を取り除くことを引き起こす薬剤」であることがわかる。

問7 「第4段落によれば、“Both of these” とは\_\_\_\_\_を指す」

正解は、ア「mTOR inhibitor and senolytics」。第4段落第1文で「いくつかの治療法が現在臨床試験にかけられている」と述べられ、続く同段落第2文で紹介されているのが、mTOR inhibitor である。その説明があった後に同段落第4文で「他の実験段階にある治療法は senolytics に注目したものであり、～」と述べられている。下線部を含む同段落第5文で、それらをまとめて“Both of these” と述べられていることが確認できる。

問 8 「第 5 段落の主旨は、\_\_\_\_\_である」

正解は、エ「寿命の増大は、出生率の増加と相まって、人口爆発を起こす可能性がある」。第 5 段落における論理展開を確認する。同段落第 1 文において、老化を食い止める治療が現実となることで、「平均寿命が人為的に拡張されると、日本やシンガポールのような先進国が現在直面している問題に苦しむ国々が増えるのではないかと懸念する人もいる」ことが述べられる。同段落第 2 文では、その「問題」が具体的に何を指すのかが述べられている。「退職年齢を過ぎた後も長く生き続ける人が多いため、彼らを支えるのに十分な数の若者がいない」という問題である。同段落第 3 文では、そのような事態に備えるための施策が紹介されている。「人々にもっと子どもをもうけるように促すことで問題を解決しようとしている」。そして同段落第 4 文では、その内容を承けるかたちで、「もしこの傾向が広まるなら、すでに持続不可能であると多くの人が考えている世界人口は、さらに増加の速度を速める可能性がある」と述べられている。まとめると、

- ①老化を食い止める
- ②平均寿命が拡張し老年人口の占める割合が高まる
- ③若年人口が社会を支えることが難しくなる
- ④それゆえ問題を解決するには出生率を高める必要が生じる
- ⑤若年人口も増加してさらに世界人口の拡大が進む

この内容をもっともよくまとめたものを選べばよい。アは日本やシンガポールの状況を説明したに過ぎず、主旨とは言えない (average age も何を指すのか不明)。イは「世界人口が持続可能であるには多すぎるという人もいる」と述べているが、これは第 4 文の世界人口に付随して述べられた内容であり、やはり趣旨とは言えない。ウは「退職後に以前よりも長生きしている」と述べているが、これは一部の先進国の状況であり、この問題を抱える国が増えるという問題の前提でしかない。以上から、正解として、エを選択すべきことがわかる。

問 9 「老化を食い止めることに関する筆者の結論を最もよくまとめているのは次のどの文か」

正解は、エ「それは実現できるかどうかかわからないが、多くの人にはそれを魅力的な目標と感じている」。設問で問われている結論は最終段落に確認できる。同段落第 1 文では、現実世界における賢者の石、つまり老化を食い止める治療法は「なかなか見つけられそうになく、たとえ見つけられたとしても、予想外の、広範囲に及ぶ悪影響をもたらす可能性がある」と述べられ、ここだけ捉えると筆者は否定的な見解を抱いているようにも見える。しかし、第 2 文では Still を文頭に置き、「しかしそれでも、たくさんの人々が、永続的に若さを保つ肉体をもちつつ、年を重ねて賢さに磨きかけた頭脳をもつことができるという可能性に抗いがたい魅力を感じており、永遠の若さの探究は今日まで続いている」と述べ、老化を食い止めることへの探究が人類を魅了してやまないテーマである、という結論に至る。これらをまとめたものが、エである。

問 10 「本文のタイトルとして最も適切なものはどれか」

正解は、ア「人は永遠に生きることができるのか」。各選択肢を検討して、全体のまとめと言えるものは選択する。イは「細胞変性の過程」、ウは「人の生涯は長すぎるのか」、エは「永遠の若さという古代の伝説」。イは「細胞変性」、エは「古代」に話が限定されるのでおかしい。ウは寿命の増大に言及はしているものの、too を用いることで、否定的な意味が全面に出てしまう。また現在形を用いることで、現状に対する問題提起と感じられる。以上から正解として、アを選択すべきことがわかる。

問 11 「本文に従って、選択肢の文が正しければ“T”を、誤りならば“F”をマークしなさい」

1. 「ポンセ・デ・レオンはもともと北アメリカ出身だった」

正解は F。レオンについては第 1 段落第 3 文に言及があり、それによるとレオンは、16 世紀に現在のフロリダへと航海したスペイン人であるとわかる。よって、これは誤りである。

2. 「現在の人類最長寿の記録は 20 世紀に打ち立てられた」

正解は T。人類最長寿記録については第 2 段落最終文に言及があり、その記録保持者が「ジャン

ヌ・カルマン(1875-1997)」とあることから、これは正しい。

3. 「mTOR inhibitor は最初アルツハイマー病のような病気を治療するために開発された」  
正解は F。 mTOR inhibitor についての説明は第 4 段落第 3 文に言及があり、それは「もともと糖尿病を治療するために開発された」ことがわかる。よって、これは誤りである。
4. 「シンガポール政府は人々に子どもをもうける数を減らすように促している」  
正解は F。シンガポール政府の施策については第 5 段落第 3 文に言及があり、シンガポール政府など一部の政府は「人々にもっと子どもをもうけるように促すことで問題を解決しようとしている」ことがわかる。よって、これは誤りである。

2

1. イ felt pressured to eat  
<pressure O to do ~> 「~するよう O にプレッシャーを与える」  
<feel pressured to do ~> 「~しなければプレッシャーを感じる」  
“I wasn’t hungry, but because Molly had gone to the trouble of baking cookies, I felt pressured to eat them.”  
「お腹は空いていなかったが、モリーがわざわざクッキーを焼いてくれたので、食べなければプレッシャーを感じた」
2. ウ what  
前置詞 from の直後であるため、先行詞を含む関係代名詞 what を用いる。the goals that の言い換えである。 they が David’s goals であることを見抜けるかがポイント。  
“After getting married and having two children. David’s goals were quite different from what they had been when he was single.”  
「結婚して二人の子どもをもうけた後、ディヴィッドの目標は、独身だった頃とはかなり異なっていた」
3. エ with which to eat  
<前置詞 関係代名詞 to do> の形となる。  
“From next week, we will have to carry utensils with which to eat our lunch in the company cafeteria.”  
「来週から、会社の食堂で昼食を食べる際に使う道具を携帯しなければならない」
4. エ is growing  
<the number of 複数名詞> 「~の数」は単数扱い、<a number of 複数名詞> 「たくさんの~」は複数扱いである。  
“The number of people who want to study or work in foreign countries is growing.”  
「海外で勉強や仕事をしたいという人が増えている」
5. エ had she fallen  
助動詞を含む文で否定の倒置が起こる場合、<否定語 助動詞 S V>の語順となる。  
“Hardly had she fallen asleep when the telephone in the living room began to ring.”  
「彼女が眠りにつくとすぐ、居間の電話が鳴り始めた」
6. ウ That  
given に不定冠詞 a がついているため、名詞「当然のこと、既知の事実」であることに気づけるかがポイント。主語を名詞節にするため、接続詞である that を文頭に用いる。  
“That the tech industry will be developing new ways to implant computer chips is a given.”  
「テクノロジー業界がコンピューターチップを埋め込む新しい方法を開発することは当然のことだ」
7. ア submitted  
the final reports は submit の O であるため、<want O done> 「O を~してもらいたい」とする。  
“Professor Pickering wants the final reports submitted by the deadline so he can return them during the semester.”

「ピカリング教授は、学期中に返却できるよう、締切までに最終論文を提出してほしいと考えている」

8. ウ or

選択肢の中で、“denouement” と “the outcome of the dramatic events” の2つの名詞句を繋ぐことができるのは or しかない。

“The success of any TV series’ denouement, or the outcome of the dramatic events, is determined partly by whether the main characters’ goals have been met by the final scene.”

「何であれシリーズドラマの終局，すなわち，劇的な出来事の結末のことだが，その成功は，最終シーンで主人公の目標が達成されたかどうかによってある程度決まる」

9. ウ see

recommend, suggest, demand といった要求・命令・主張・提案などの動詞では，<recommend that S’ (should) do ~> となるため，S’が she でも動詞の原形 see となる。

“I recommended that she see Professor Kay before starting to write her graduation thesis.”

「私は卒業論文を書き始める前に，ケイ教授に会うことを彼女に勧めた」

10. エ electricity

electrically は「電気で」で副詞， electrify は「帯電させる」で動詞， electrical は「電気を用いた」で形容詞であり，前置詞 on の目的語にできるのは名詞である electricity 「電気」のみである。

“Thanks to a governmental campaign, people are more conscious of the need to save on electricity especially in the summer and the winter.”

「政府のキャンペーンにより，人々は，特に夏と冬，節電をする必要をより意識するようになっている」

3

- |       |                                   |              |                            |
|-------|-----------------------------------|--------------|----------------------------|
| 1. ウ  | <u>incessant</u>                  | 「絶え間ない」      | = endless                  |
| 2. ア  | <u>fly into a temper</u>          | 「激怒する」       | = get angry                |
| 3. ウ  | <u>amass</u>                      | 「～を大量に集める」   | = accumulate               |
| 4. イ  | <u>unintelligible</u>             | 「わかりにくい」     | = impossible to understand |
| 5. ア  | <u>vermin</u>                     | 「害虫」         | = pest                     |
| 6. エ  | <u>let the cat out of the bag</u> | 「秘密を漏らす」     | = disclose the secret      |
| 7. イ  | <u>résumé</u>                     | 「履歴書」        | = curriculum vitae         |
| 8. ウ  | <u>at the mercy of</u>            | 「～のなすがままである」 | = under the control of     |
| 9. ア  | <u>be fed up with</u>             | 「～にうんざりしている」 | = be tired of              |
| 10. エ | <u>arguably</u>                   | 「おそらく」       | = possibly                 |

4

- イ 「囲碁を紹介された時，ダンはどのように感じたか」  
3つ目の Dan の発言第3文に “At first, I thought it was really boring, and I couldn’t figure it out.” とあり，「最初は，囲碁がとても退屈に思え，私には理解できなかった」と発言している。
- イ 「ダンが “mopped the floor with me.” という場合，恐らく彼は\_\_\_\_\_と言おうとしている」  
下線部を含む文(4つ目の Dan の発言第2文)に続く第3文前半で，“But I’ve been practicing hard, ~” とあり，下線部を含む，“~ a junior high school boy mopped the floor with me.” は，ダンが懸命に練習に励むきっかけとなった出来事が起こった，つまり中学生に負けたとのだと推測できる。下線部の <mop the floor with ~> は，「～を完全に圧倒する」という意味。
- イ 「ダンの現在の棋力は恐らくどれくらいか」  
4つ目の Dan の発言第3文後半で，“~ now I can hold my own against most mid-level players.” とあり，「今や私はほとんどの中級プレイヤーに引けを取らない」と発言している。<hold one’s own against ~> は，「～に屈しない，～に引けを取らない」という意味。

4. ウ 「ゾフィアによれば、シイタケに関して正しいのはどれか」  
 3つ目の Zofia の発言第2文後半に、“~ shiitake are really meant to be grown on an oak or maple log ~”とあり、「シイタケは本来オークやカエデの丸太で栽培することになっているのよ」と発言している。<be meant to do ~> は、「~しなければならない、~することになっている」という意味。
5. ウ 「カメラクルーが同行するのを許したのは、インタビューを受けた中の誰か」  
 最後の Taro の発言第2文 “Can we go with you?” に答えて Zofia が “~, why not?” と承諾を示す発言をしている。
6. エ 「プレストンがゼヴィン教授のもとに来た主な理由は、\_\_\_\_\_である」  
 2つ目の Preston の発言に “I’ve been looking at the assignment you gave in the last class, and I’m not sure I understand it completely.” とある。つまり、Preston は前回の授業で出された課題のことをきちんと理解できているか不安で、課題について質問しに来たとわかる。
7. イ 「その対話によれば、課題について正しい記述はどれか」  
 4つ目の Preston の発言に “Well, I’m still not completely sure how I should do that.” とあり、課題の進め方がわからないという。その直後の教授の発言に、歌詞や当時の情勢、楽器、コードの種類を調べてみると良い、というアドバイスがあり、これが解答の根拠となるだろう。  
 また、他の選択肢についてだが、3つ目の Preston の発言に “So we need to choose two arias, ~.” とあり、実際に4つ目の Preston の発言に第2文では、Preston が選んだ楽曲についての記述もある。そのため「楽曲の最終決定はゼヴィン教授が行う」というアは誤り。ウとエは本文に該当する箇所がなく、誤りである。
8. ウ 「その対話によれば、“the new student portal” について正しくない記述はどれか」  
 7つ目の Professor Zevin の発言最終文に “Unfortunately, the bookstore link in the portal needs to be updated, ~” とあり、学生ポータル中の書店のウェブリンクは古いことがわかる。また、他の選択肢についても同じく、7つ目の Professor Zevin の発言に解答の根拠がある。
9. ア 「プレストンが “have a lot on my plate.” という場合、恐らく彼は\_\_\_\_\_と言おうとしている」  
 下線部を含む文(9つ目の Preston の発言第1文)前半で、 “I took this class for the challenge, and with the assignments, quizzes, and project ~”, とあり、このコースは通常の課題、小テスト、最終課題を含み、Preston にとって挑戦しがいのある内容であることがわかる。また、この直前の(8つ目の) Professor Zevin の発言第1文に、 “Well, there’ll be a series of assignments and weekly quizzes over the course of the semester leading up to the project.” とあり、最終課題までに、通常の課題や小テストが目白押しであることがうかがえる。<have a lot on one’s plate> は、「やるべきことがたくさんある」という意味である。
10. ア 「上級音楽学コースに関してどの文が正しいか」  
 最後の Preston の発言に “I heard from another student that only the final project goes towards our final grade; is that correct?” とあり、最終課題だけが最終成績に関わるという噂の真偽を尋ねているが、それに対して Professor Zevin は、 “No, the quizzes are worth 20% and the assignments another 20%.” と答えており、最終成績には小テストや通常の課題も加味されることがわかる。

5

- 問1 ウ 「ある技術者の偶然による発明品」について。4でパーシー・スペンサーという、レーダー技術の改良に取り組んでいた技術者の説明がなされる。“Further tests” から始まる3を続けようとする、元の試験が書かれている必要があるわけだが、4にはその情報はなくむしろ1に “While testing a radar component called a magnetron ~” とあり、ここから1 → 3の順になることが予想できる。そして、3の “~ the magnetron’s waves ~ could also be used safely inside a metal box.” を受けた結果として、2の “Spencer’s accidental invention, the microwave oven” が完成することがわかれば、3 → 2の順になる。概要は、パーシー・スペンサーがレーダー技術を改良する方法に取り組んでいると、マグネトロンのテスト中にマグネトロンのエネルギーが偶然ポケットの中のチョコレートバーを溶かした。さらにテストを進めていくと、マグネトロンのマイクロ波が卵やポ

ップコーンを焼いたりすることもでき、金属の箱の中で安全に使えることがわかった。この偶然の発明品である電子レンジが、いまでは全世界の家庭では一般にみられるようになったという流れになる。よって、4 → 1 → 3 → 2 が正解。

問2 イ 「ベーリング海峡にあるダイオミード諸島」について。1でまず、ビッグダイオミード島とリトルダイオミード島という2つの島があることが説明される。3の“For **this** reason”の**this**の指す内容が、1に書かれていないため、4が1の次に来ると予想される。つまり、2つの島の間の距離はたった3.8キロであるという説明がされる。その後、2つの島の間の物理的な距離は近いが、その間に日付変更線が走っているため、ビッグダイオミード島はリトルダイオミード島よりも21時間時間が進んでいるという、2つの島の間の大きな時間的な距離の話がさらに書かれていると考えれば、2に**however**が用いられていることも論理として辻褃が合う。そして最後に3を置き、2つの島が「明日の島」と「昨日の島」という象徴的な名前でも知られるようになったという話で締めくくられる。よって、1 → 4 → 2 → 3 が正解。

問3 ウ 「チョピンと呼ばれる厚底靴」について。冒頭に3が置かれて、「16世紀から17世紀に、イタリアとスペインでチョピンと呼ばれる厚底靴が流行した」となる。続いて、その靴の最大の特徴である高さについて説明した1が置かれる。具体的にその高さがどのくらいかを説明したのが、4であり、これがこの次に入ると考える。最後に来る2は、“**This dramatic height and unhurried movement**”の部分が、4での説明を受けていると考えられる。よって、3 → 1 → 4 → 2 が正解。

問4 ウ 「驚異的な知能は生まれつきのものというよりは訓練の産物であることを示した研究」について。まず1で、ある教育心理学者が驚異的な知能は生まれつきの才能というよりは訓練によるものであると考えていたという内容が紹介される。その後に来るのは、その学者の主張を詳しく説明している2であると考えられる。すなわち「彼の主張によると、どんな子どもでもあれ天才へと変えることはでき、人間の教育の注目すべき実験においてそれを示し始めた」となる。さらに残った選択肢のつながりを考えよう。4はこの教育心理学者が、自分の3人の娘に対して行ったこの実験の内容、すなわち娘たちにチェスのプレーの仕方を教えたということを説明しており、3はその結果、すなわち娘たちは全員世界クラスのチェスプレイヤーになったということを示しているから、4 → 3の順になる。よって、1 → 2 → 4 → 3 が正解。

6

- (1) ウ 空所(1)を含む1文のおよその意味は「データによると、これらの製品の売り上げは( 1 )のカードを除いて、2018年で最も小さくなっている」である。グラフから Hunt だけが、他の年と比べて2018年の売り上げが大きいことがわかり、これが正解となる。
- (2) イ 空所(2)を含む1文のおよその意味は、「実際、2020年では、Blaster は Crunch-i の( 2 )倍多く売れた」である。グラフから、2020年に Blaster と Crunch-i の売り上げはそれぞれ、63,000枚と21,000枚であることがわかり、3倍となっている。よって three to one を選択する。
- (3) ウ 空所(3)を含む1文のおよその意味は、「Growler の売り上げは、2018年に比べ、2019年ではおよそ( 3 )倍となっている」である。グラフから、2019年の Growler の売り上げは、2018年のその6倍であることがわかる。よって six を選択する。
- (4) エ 空所(4)を含む1文のおよその意味は、「RK Bang は当初、Tring Computers 社の人気を博していた V2 カードに対抗するものとして発表され、その売り上げは2020年に( 4 )している」である。選択肢を見ると、売り上げの動向を選べばよいとわかるが、グラフから、“RK Bang”の売り上げは2018年から2019年にかけて大幅に(およそ6倍に)上昇していることがわかる。よつ

て jumped を選択する。

7

- (1) “Over half the cells in your body are not human ones; rather, they consist of bacteria and other microorganisms that are found throughout the body but concentrated primarily in the large intestine.”  
 「体内の細胞は半分以上がヒトの細胞ではなく、細菌や他の微生物からなる。こうした微生物は身体中に見られるが、もっぱら大腸に集中している」  
 human ones は「ヒトの細胞」を指す。  
 they は over half the cells in your body を指す。  
 bacteria 「細菌」  
 microorganism 「微生物」  
 関係代名詞 that は bacteria and other microorganisms を指す。  
 large intestine 「大腸」
- (2) “Consequently, further advancement in medical care may be possible by incorporating the characteristics of these creatures into diagnosis and treatment, contributing to longer health expectancies.”  
 「それゆえ、こうした生物の持つ特徴を診断や治療に取り入れることで、医療のさらなる発展が可能となり、健康寿命を延ばす助けとなるかもしれない。」  
 further advancement 「さらなる発展、進歩」  
 medical care 「医療」  
 incorporate ~ into ... 「～を…に取り入れる」  
 characteristics 「特徴」  
 diagnosis 「診断」  
 treatment 「治療」  
 contribute to ~ 「～の助けとなる、～に貢献する」分詞構文の意味上の主語は further advancement  
 longer health expectancies 「健康寿命を延ばす」

8

- (1) 「哲学的考察」 philosophical consideration / philosophical examination など。  
 「～はさておき」 apart from ~ / setting ~ aside など。  
 「人間」 humans (1行目) / human beings など。  
 「～の他にも」 besides ~ / on top of ~ / in addition to ~ / other than ~ など。これらは「～に加えて」の意味。  
 except ~は「～を除けば(ない)」という場合に使用するので不可。  
 「～が明らかになってきた」  
 ~ has become clear / ~ has become plain など。  
 前の文に合わせて現在完了形を用いる。
- (2) 「けんかの真似ごとを行う際」  
 in playing a fight / when they play a fight など。  
 quarrel は「口論」なので不可。  
 「危害を加える」 do an injury / do harm など。  
 目的語が harm / injury などの場合は give ではなく do を用いる。  
 「～する意図がない」 have no intention to do ~ / not to do ~ など。  
 「～を合図する」 signal that S' V' ~ / give a signal to do ~ など。  
 「音を出す」 make noises (9行目) / make a sound など。



講評

- 1 [長文内容一致] (標準) 「今日まで続く永遠の若さの探究」に関する英文。設問に特に難しいところはないが、「主旨」を問う設問は一部判断が難しい。
- 2 [文法四択] (標準) 典型的な出題内容で、しっかりと学習していれば得点しやすい。
- 3 [同義語選択] (標準) 難解な単熟語でも、文脈や語句のイメージから選択可能な問題が多い。
- 4 [会話] (標準) 前半は「東京駅から各地へ向かう乗客とインタビュアーの会話」。後半は「学生と教授の間での課題内容や学生ポータルに関する会話」。各設問の選択肢は正誤の判断をつけやすいものが多い。
- 5 [文整序] (やや易) 先頭に来るものが決まっており、指示語や代名詞を判断基準にして正解にたどり着ける設問が多い。
- 6 [図・グラフ] (やや易) データを正確に読み取る力を試す問題だが、特に難しさはない。
- 7 [和訳] (標準) 「体内のマイクロバイオーーム」に関する英文。一部医学用語などの難しい単語も含まれるが、全体としては構造通り素直に訳すことができる。
- 8 [英訳] (標準) 「ヒトの他にも存在する笑う動物」に関する英文。構造は平易で、それぞれの言葉の表現で差がつく。

大問構成、問題量及び難易度のいずれも例年並み。目標は70%

**メルマガ無料登録で全教科配信！** 本解答速報の内容に関するお問合せは… メビオ ☎.0120-146-156 まで

 医学部進学予備校 ☎.0120-146-156 <a href="https://www.mebio.co.jp/">https://www.mebio.co.jp/</a>	 医学部専門予備校 heart of medicine ☎.03-3370-0410 <a href="https://yms.ne.jp/">https://yms.ne.jp/</a>	 医学部専門予備校 福岡校 ☎.0120-192-215 <a href="https://www.mebio-eishinkan.com/">https://www.mebio-eishinkan.com/</a>
--	--	---

  
 登録はこちらから

医学部入試攻略ガイド

<b>大阪</b>	<b>2.5(日)</b>	14:00～15:00(ガイド) 14:00～15:00(個別相談) 阪急梅田グランドビル会議室
<b>神戸</b>	<b>2.11(土)</b>	14:00～15:00(ガイド) 14:00～15:00(個別相談) 三宮研修センター
<b>京都</b>	<b>2.12(日)</b>	14:00～15:00(ガイド) 14:00～15:00(個別相談) 京都経済センター (四条烏丸)

医学部受験相談会

<b>名古屋</b>	<b>2.5(日)</b>	11:00～16:00 オフィスパーク名駅プレミア会議室
<b>広島</b>	<b>2.5(日)</b>	11:00～16:00 TKPガーデンシティPREMIUM 広島駅前

後期模試

金沢医科大学 2.17 関西医科大学 2.22

後期攻略講座

近畿大学医学部 2.18・23  
 関西医科大学 2.20・3.2  
 金沢医科大学 2.21・27/2.24 (名古屋)  
 藤田医科大学 2.24 (名古屋)  
 久留米大学医学部 3.6  
 大阪医科薬科大学 3.7

詳しくは Web またはお電話で